

## 米国・ANSWER 連合の報告

2013年3月の台北での第16回AWC-CCB会議に提出

2012年の米国の中央政治の焦点は大統領選挙だった。その結果はバラク・オバマ大統領の再選だった。それも選挙前の状況は彼が敗ける兆候を示していたにもかかわらず、500万票の大差で勝利したのだった。極端に高い失業率と拡大する貧困、過去四年間を特徴づけるこうした経済傾向は、通常は現職大統領の敗北をもたらすものである。

2007年に開始された金融・経済恐慌は、1930年代の大恐慌以来のあらゆる資本主義の危機にも増して、米国の労働者階級に最も破滅的な影響を与えている。それは、30年間にわたって低下し続けてきた実質賃金と生活水準をいっそう大きく悪化させている。同時に、0.01%のスーパーリッチ（超富裕層）と働く人民大衆のあいだの格差は記録的なレベルにまで拡大している。

公式統計では米国の失業率は現在は7.9%、失業者は約1200万人ということになっているが、実際の数字はこれを大きく上回る。公式統計では過去四週間に何回か求職活動をしたことを行政に報告している者だけが失業者として数えられる。職探しを諦めた長期失業者、新たに職を探すことになった人々、フルタイムの仕事を探しているが見つめることができないでいる何百万人も短時間雇用労働者（パート・アルバイト）や季節労働者は、この数字のなかに入っていない。実際の失業者数は厳密に数えれば、2300万人から2500万人にのぼる。

歳入の減少のために、あらゆるレベルの政府—連邦政府、州政府、地方自治体—が事実上、雇用可能人口を削減し、その結果として失業危機をつくりだしている。2011年末の時点で、2007年以来レイオフされている公務員は50万人以上に達しており、さらに今後も何十万人もの公務員がレイオフされようとしている。黒人労働者の約20%は公務員であると見積もられている事実から、このレイオフはとりわけアフリカ系アメリカ人労働者を直撃している。

失業は、とりわけ学生・青年を激しく直撃している。多くの大学卒業者は自分が職業訓練を受けた地域で仕事を見つけることができず、どんな仕事も見つけれない場合も多くある。同時に、かれらの多くが何万ドルもの高い利率の学生ローンを負わせられている。最も失業率が高い集団は、アフリカ系アメリカ人、ラティーノ、ネイティブ・アメリカンの青年である。

長期失業者の増大は、貧困のうちに生活する人々、貧困ぎりぎりのところで生活する人の数を鋭く上昇させた。公式調査は、2011年には貧困が、53年前にデータの記録が開始されて以来、絶対数で最多になった。2011年には米国内の人口の16%、約4970万人の人々が貧困のうちに生活している。2009年にはその数値は14.3%、約4360万人であった。さらに2011年には9800万人の人々が連邦政府によって「低所得者」に分類されている。米国人口の48%以上が現在貧困層あるいは低所得者と分類されているのだ。

黒人とラティーノのコミュニティでは、貧困はそれぞれ27.4%および26.6%と最高値に達した。世界で最も豊かな国で、2011年の調査では38.2%の黒人の子どもたちと35%のラティーノの子どもたちが貧困にあえいでいる。

2007年以来、家屋の接収は500万件以上にのぼり、何百万人も所有者が家から立ち退かされた。

よく言われている経済の「回復」は主に富裕層に向けたものである。大多数の民衆にとって、オ

バマ大統領の第一期は生活条件の低下と収縮として特徴づけられる。ではなぜ、彼は昨年 11 月の選挙に勝利できたのか？

バラク・オバマが再選されたのは、人口の大多数がロムニー、リヤン、極右の計画を恐れ、それを拒絶したからだ。オバマ大統領は米国の大衆の態度が進歩的な方向にシフトし続けていること、そして米国の構図が変化していることの受益者であったのだ。

アフリカ系アメリカ人の投票者の 93%、ラティーノの 75%、アジア系アメリカ人の 74%がオバマを支持した。ロムニーは白人の投票者のあいだでかなりの多数を占めた—2008 年のマケインよりも多く、ケリーに勝った 2004 年のブッシュの得票数と同じくらい—が、全社会階級のなかの何千万人もの白人たちもまたオバマに投票したのだ。女性の 55%、18 歳から 29 歳の若者の 60%、レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー(LGBT)の人々の 77%がオバマ再選の方に投票した。

ある重要な出口調査では、投票者の 66%が非登録移民のための「市民権への道」を支持したと述べている。有権者の大多数は墮胎の権利を支持した。シビック・ユニオンだけでなく、LGBT の人々の婚姻の平等が、国全体で初めて多数を占めた。メーン州、マリーランド州、ワシントン州では有権者は同性婚を合法化する投票手段を承認し、ミネソタ州では投票者は結婚を男性と女性のあいだによるものと定義しようとする州憲法の改定を拒絶した—結婚の平等をめぐる州レベルの投票で初めて勝利した。

オバマ大統領は組織労働者の莫大な努力の受益者だった。全国の組織労働者はオバマ大統領を支援するために戸別訪問や電話かけに動員された。労働組合員は 2 対 1 の大差でオバマに投票した。

共和党も民主党もどちらも資本家支配階級の政党である。大統領は資本主義国家の CEO だ。この国家は資本家階級の利益に奉仕し、その利益を地球規模で追求している。両党とも政権に就いたときは大銀行、石油会社、そして軍産複合体の利益に奉仕する。民主党も共和党も、終わりのなき戦争、占領、無人機による攻撃、経済制裁、その他世界の抑圧された民衆と民族に対して帝国主義が昔から使ってきたすべてのやり方を支持している。

11 月 6 日にオバマ大統領と民主党に投票した民衆の大多数は、ウォール街の支配を支持したのでそうしたのではない。彼はパキスタンやイエメンでの無人機による攻撃、リビア空爆、アフガニスタン占領を支持したわけではない。オバマ大統領の勝利は、オバマ政権の反動政策を大衆が受け入れた結果ではない。

それは大部分の人々が白人優位主義、差別的な移民バッシング、女性の権利や LGBT の権利、労働組合への敵対に象徴されるロムニー陣営の政策を拒絶したことの結果である。

それゆえ、米国の人々の態度およびこの国の構図が進歩的な方向にシフトしつつあるということが出来るのだ。これは、民主党が帝国主義政党であり、生活条件のさらなる悪化をもたらすウォール街の右翼的政策を推敲しようとしているにもかかわらず、そうなのである。この民衆の熱望と民主党の実際の政策のあいだの矛盾は明らかにならねばならないし、なるであろう。

再選に勝利したことで、オバマ大統領と民主党政権は現在、銀行や企業の基本課題を実行するために共和党および極右との合意形成を追求している。この銀行や企業の基本課題とは、「社会保障と医療」を含む社会プログラムを削減し、現在の危機の経済的つけを労働者階級と貧困層へと押しつけることである。

再選のための努力における労働者の中心的な役割にもかかわらず、民主党知事を頂くいくつかの州政府を含む多くの州政府は労働組合の権利を制限し、公務員労働者の大量レイオフをおこなっている。

帝国主義的エスタブリッシュメントは選挙が終わるまで、シリアでの「体制変革」のための戦争を強めることを控えていた。オバマ大統領はこの国が「戦争にうんざり」しており、新しい介入に反対していることを知っていたので、ロムニーがそうしたように、この問題を選挙より優先させることを避けた。しかし、イギリス帝国主義との注意深く連携した計画—選挙の翌朝に発表された—のなかで、NATO 勢力はシリア政府を打倒するための直接介入に踏み出し、それをエスカレートさせ続けている。

世界支配のための米国支配階級の策動は減じることなく続いている。これは民主党と共和党のどちらがホワイトハウスと議会を支配しているにかかわらず、第二次世界大戦以来続いている中心的な目的であり続けている。

米国の進歩的な運動が取り組んでいる主要な闘争には次のようなものがある。シリアへの介入への踏み出し、進行中のアフガニスタンでの戦争、イランや北朝鮮、その他の国々に対する新たな戦争の恫喝、殺人無人機の使用の拡大に反対すること。連邦、州、地方自治体のそれぞれで拡大している予算の削減とたたかうこと、レイシズムにもとづく警察の暴虐や大量逮捕の伝播に抵抗すること。今も全国規模で攻撃が続いている女性の権利を防衛すること。移民の完全な権利、今もなお頑迷さや暴力に直面している LGBT の人々の完全な平等のための闘争を続け、などである。

ANSWER 連合は、真の進歩のための核心的要素は投票箱ではなく、街頭、職場、地域、キャンパスでの民衆の大衆運動だと確信している。

## オキュパイ運動

2011年9月のロウアー・マンハッタンウォール街占拠行動から始まったオキュパイ運動は、その洗礼を受けてから数ヶ月のうちに米国の何百という都市に広がる自然発生的な大衆的現象となった。

しかし、この運動は今日、大きく消え去っている。この運動は世界中のマスメディアと進歩的なメディアの双方が取り上げ、その運動の息吹と魅力が伝えられてきたが、われわれはこの運動の消滅についてのわれわれの分析を共有することが重要だと考えてきた。もちろん、この運動は過去の形態であれ、いくつかの他の繰り返しを通してであれ、再出現することができる。

ニューヨーク・シティなどいくつかの地区では、オキュパイ運動は存在し続けているが、それは大きく異なった形態においてである。例えばニューヨーク・シティでは、オキュパイ運動の活動家たちはハリケーン・サンディなどの極端な気候事象で家や生活に壊滅的な打撃を受けた労働者階級の家族を支援するための広範囲にわたる支援団体を設立した。しかし、全国規模の草の根の抗議運動としてのオキュパイ運動はもはや実際には存在していないと言わねばならない。

オキュパイ運動は大きく挫折した。その理由は:

- (1) 米国という資本主義国家がオキュパイ・キャンプに徹底的で、連携した、全国規模の攻撃をおこなった。7000人近くの民衆が数ヶ月のうちに逮捕された。オキュパイ・キャン

プのホームとなった公的空間は全国で警察に攻撃された。

政府はキャンプへの弾圧が連邦レベルの連携したキャンペーンであることを否定し、今も否定し続けているが、「市民正義のためのパートナーシップ」(JusticeOnline.org)の進歩的な弁護士たちは、米国土安全省、FBI、地方の法律施行機関、および抗議の標的になった大銀行などの企業体などから何千ページもの資料を見つけることに成功した。それらの文章は米政府がその膨大な「反テロ」機関組織を利用し、それをこの運動に対する監視、混乱の持ち込み、抑圧の道具として使ったことを決定的に明らかにしている。

(2) オキュパイ運動の政治的性格は、連邦政府の連携した弾圧に対する準備不足をもたらしていた。この(諸)団体は「指導者がいない」運動であることを誇りに思っており、その全般的な組織形態が米政府と米国の法律施行機関による計画された、連携した、集中した攻撃に対して、計画された、連携した、集中した攻撃に対して対応をとることを妨げた。

歴史的に、労働運動、公民権運動、ベトナム反戦運動、イラク反戦運動など米国の広範な社会運動は、発達した構造、指導者、合意にもとづく戦略と戦術目的をもつ団体に率いられ、少なくとも最小限の政治綱領を持っていた。すぐれた戦術的志向性をもつ発達した指導部をもつことは、資本主義国家からの抑圧にともなう諸問題を含むすべての進歩的な運動が直面している多くの問題に対処できる、あるいは対処しようとする指導と規律の双方を提供する。

他方、オキュパイ運動は、本質的に、指導部、戦略、戦術の問題に関しては現代のアナーキズム的な志向性を採用した。それは、カードル級の指導部と合意にもとづく政治綱領についてはまったく欠けていた。

端的に言って、オキュパイ運動はあらゆるものをあらゆる人々のものにし、誰にでも、そして多かれ少なかれ自然発生的な根拠をもって組織することができたので、このことが資本主義国家による連携した、全国規模の攻撃に直面したときにこの運動を脆弱なものにした。もちろん、この運動の新鮮で自然発生的な性格は、すぐに人を惹きつけるようなものであった。その形態は短期間に、今まで政治にまったく関与してこなかった人々を含めて数多くの人々が参加できるものであった。あらゆるレベルでの参加民主主義の志向性は、資本主義社会に支えられた既存のヒエラルキーに対する潜在的な二重権力の感覚を与えた。しかし、その魅力と同じ現象が同時に、集中した攻撃にあったときの固有の脆弱性をもたらしたのである。

結論として、オキュパイ運動の高揚の物質的根拠は今もなお存在しており、実際、日々深まっている。新自由主義的資本主義のダイナミックな様相は、米国の大部分の人々、とりわけ成人青年の生活水準を低下させつづけている。階級格差は劇的に拡大している。しかし、この運動の物質的根拠は、もちろん、運動が古い形態であれ、何が他に代わるもの—少なくとも即座に—という意味ではない—であれ、即時に再現することを意味するわけではない。しかし、われわれの予測では、2011年のオキュパイ運動は米国内部の拡大する階級闘争の拡大に関する何かその先がけである。

## ANSWER 連合

ANSWER 連合 (Act Now to Stop War & End Racism/戦争を止めレイシズムを終わらせるために今

こそ行動を)は、2001年の9・11事件の数日後に、ブッシュ政権の戦争への猛然たる突入と米国でのアラブ人やムスリムのコミュニティに対する民族差別的な攻撃に対してすばやく行動する必要があると考えた米国の進歩的団体・個人によって結成された。ANSWER 連合は、アメリカ反戦運動内の反帝国主義的翼を代表する全国連合であり、10年以上にわたってワシントンDC、サンフランシスコ、ロサンゼルスその他の米国の都市で数々の最大規模で進歩的なデモンストレーションを組織するなど、その結成以来米国でもっとも活発な反戦連合であり続けてきた。

ANSWER 連合は反戦・反レイシズムの活動に加えて、移民の権利、警察の弾圧に対する闘い、労働者、学生、パレスチナ人民の闘争やキューバ革命への連帯、レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーの権利、政治犯への支援、そして直近ではオキュパイ・ムーブメントなど他の多く社会運動のなかで重要な役割を果たしてきた。

全米の30都市以上に ANSWER 連合の支部があり、他の都市にも個人活動家や支援者が存在している。多くの ANSWER 連合の支部では、デモンストレーションや抗議行動に加えて、定期的に教育フォーラムや映像上映会などをおこなっている。

十数年前の発足以来、ANSWER 連合の活動の中心的で一貫したテーマは以下のものであった。すなわち、1) 米国と世界における搾取・抑圧に対する闘いの不可分の結びつき、2) アメリカ帝国主義の支配階級が米国人民のみならず、世界の人民の第一の敵であるという事実、3) 世界を変えるための核心としての階級意識と戦闘的大衆運動の必要性、である。

## キャンペーン

ANSWER 連合は2013年4月13日を国全体の「無人探査機はアフリカ、中東、アジア、そして他のどこからも出ていけ」アクション・デーとすることにした。米軍の無人探査機は、近年少なくとも4700人を殺害している。

呼びかけ文は以下の通り：

アフリカとその豊富な天然資源を狙ったペンタゴンとCIAの思惑は今やフルスイングだ。中東で、中央アジアで、そしてアフリカの角(訳注：エリトリア・ジブチ・エチオピア・ソマリアの事)で、何千人もの人々が殺害されている。米政府は今やアフリカの各地にクロスヘア(光学機器のレンズに付けた細い十字線の事)を突っ込んでいる。ペンタゴンはニジェールに無人探査機の司令部を設置し、アフリカ大陸全体に無人探査機の基地が網羅している。2012年12月の末には、米国はアフリカ大陸の35カ国に軍隊を送ることを宣言した。

暗殺団政府としての米国は、大統領そして軍のリーダーに、秘密裏に殺害すべき人間の極秘の殺害リストを作成することを許可している。個人が選ばれて殺害され、近くの市民も巻き込まれて殺害されている。無人探査機は選択のための兵器なのである。(全文は<http://www.ANSWERcoalition.org/national/news/april-13-us-drones-out-of-africa.html>)

4月13日のデモはホワイトハウスと全国の街々で実施する予定である。

ANSWER 連合は、教育フォーラム、映画上映、外交行動を通してパレスチナ人の民族自決と戻る権利の闘争も支援している。2012年11月には、ANSWER 連合はその他の反戦・反帝国主義勢力とともに、イスラエル(米国が背後にいる)によるガザ襲撃に抗議するデモンストレーションを各国で行った。



2012年10月には、ANSWER連合は米国のアフガン侵略11周年に、様々な国で米国・NATOによる占領を直ちにやめるよう要求するデモンストレーションを行った。ANSWER連合は、シリアでの体制変革を実現するための帝国主義に支援され武装した戦争に反対してきた。

ANSWER連合は、国連とNATOの傘下の帝国主義者による、イラン政府を揺さぶるための厳しい経済制裁、軍事的脅迫、秘密のテロ作戦等が、イラクを不安定にしているとして、これに反対する。これは、米国の帝国主義機構のすべての機関が（民主的に投票で選ばれたモハマンド・モサデク政権が1953年にシャールに取って代わられた時に起きたのと同様に）イランを不安定にし、最終的に体制変革を狙っているなかで、非常に重要な活動である。

ANSWER連合は「キューバ5の釈放を求める全国委員会」に参加し続けている。これはこの5人の解放と、米国のキューバに対する封鎖を解除するよう求めるものである。この5人は、14年もの間不当にも投獄されている。その罪状は、米国のテロ的な攻撃から母国を守るためにフロリダの反革命キューバ人グループに潜入したことである。

新聞の広告、大衆のフォーラム、デモを通して、全国委員会はキューバ5の起訴の全く不正な様相を暴露してきた。2001年に5人の裁判を取り上げたマイアミを拠点とするジャーナリストたちの情報源は、同時に5人を起訴したのと同じ米国政府の職員であった。

ANSWER連合は、米国の朝鮮民主主義人民共和国を転覆しようとするキャンペーンに反対する。これに関するANSWER連合全国コーディネーターのブライアン・ベーカーのインタビューは、以下で見られる。

<http://www.ANSWERcoalition.org/national/news/real-provocateur-in-korea.html>

ANSWER連合は、アフリカン・アメリカン、ラテン系、その他の労働者階級のコミュニティと連合し、大衆の投獄や、警察の獰猛なやり口に反対している。米国は実質的にも割合としても投獄者数NO.1である。230万人以上が投獄されており、特に若者と有色人種は甚だしく、700万人が司法の(「正義の」)監督下にある。

人種差別主義と反労働者階級の殺人や虐待が蔓延している。ANSWER連合は西はカリフォルニアから東はニューヨーク、そしてフロリダからニューメキシコまで数多くの警察による殺人に正義を求める闘争に深く関わってきた。(しばしば死に至る)暴力、すなわち警察による虐待はアフリカン・アメリカンやラテン系コミュニティでは日常茶飯事である。

ANSWER連合の女性活動家は、WORD(抵抗と防衛のための女性組織)の組織化で重要な役割を担っている。WORDは、2012年8月26日(女性平等デー)で最初の活動をおこなった。これは民主党と共和党の党大会の前日で、女性の権利への攻撃から守るためのものである。WORDは現在、「女性への暴力をとめよう！現状を変えなくては！」の横断幕のもとで、国際女性デーの全国的な活動を準備している。

行動の呼びかけは以下の通り：

立ち上がって！ 私たちには、性的暴力を終わらせる力がある。こんにち誰もが持つ一歩、誰もが持つ女性としての権利は、闘争の結果です。反撃しよう、現状を変えなくては！ 米国では、130万人の女性が毎年レイプされており、4人に1人の女性が今のパートナーか前のパートナーの暴力を受けています。報告されたレイプ事件のうち、起訴されるのはたった37%で、有罪になるのは18%だけ。女性は職場で脅され、米軍の女性はたくさん

性暴力にあっています。投獄された姉妹たちは恐ろしい目にあっていて、逃げ場がない。高校やキャンパスの若い女の子たちは、日常的に脅され、攻撃され、レイプされています。(詳しくは WORD のサイト [DefendWomensRights.org](http://DefendWomensRights.org))

ANSWER 連合は、全ての移民にあらゆる権利を要求し、毎年 3 月 1 日には移民と労働団体の権利のためのデモをサポートしてきた。

私たちは、ジェンダー、ジェンダー表現、性志向に関わらず全ての戦いにも積極的に参加し、結婚の平等のための運動にも参加してきた。

ANSWER 連合の活動家は、さまざまな労働組合で組合建設と組織間の両方で活発に活動している。

### **March Forward!** (「マーチ・フォワード/前へ進め!」)

ANSWER 連合は、イラク・アフガンの退役兵や、現役の兵士を組織化している。ANSWER 連合の支部である、退役兵や現役兵の組織「March Forward!」を通して、現役兵や退役兵が直面する多数の事例に取り組み、帝国主義政策に反対するオリエンテーションを実施したり、当局と戦わせたり、反戦の活動ができるよう支援する。

10 年以上の戦争により、米軍ではこれまでにないほど自殺が流行している。この 3 年間は、戦闘で殺されるより、自殺で命を失った兵隊の方が多岐にわたる。平均して、一日一人の兵士が自殺している。これは戦闘による避けられぬ結果であるばかりでなく、占領の性質によるものであり、当局の兵士への態度による当然の成り行きなのである。治療法を見つけようとするだけでは全く不十分である。しかし、なんとも恐ろしいことだが、PTSD に悩む兵士をあざけったりバカにしたりする風潮があり、政府もこのような診断を故意に無視している。そうして、アフガニスタンへの展開を続けようとしているのである。

軍隊の中の女性たちは、PTSD と軍隊での性的トラウマの両方の虐待に苦しめられている。軍隊の女性たちは天文学的なレベルの性的暴行を経験している。軍のレポートによれば、3 人に 1 人の女性が同僚からの性的暴行を経験し、恐ろしくてレポートに報告できなかった女性が大半であると推察される。暴行を行った者が懲罰を受けることはほとんどなく、被害者が罰されることが大半である。

加えて、軍隊を退役した者の失業率は 2 倍であり、野宿生活者となる者の比率が非常に高い。イラク・アフガンから退役して大学を卒業できた者は、若者が軍隊に入る理由のほとんどが大学に入学したいためであるにもかかわらず、退役兵のわずか 3% にすぎない。これは精神的・財政的な困難によるものである。

現役兵が直面する一番の問題は、絶え間なく何度も繰り返されるアフガニスタンでの帝国主義者の失敗した計画への展開である。投票調査によれば、現役兵の 70% 以上が戦争から今すぐ撤退したいと希望していることが分かっている。ほとんどの兵士が戦争が何のためのものか分からず、モラルも失墜していると感じている。アフガニスタンのいくつかの部隊では、一日に少なくとも一人の兵士が手足の一本を失っている。イラクやアフガニスタンの 12 回の戦闘任務期間を果たした兵士もいる。

現役兵が直面する無数の事例と、帝国主義の戦争屋たちでは解決できない数々の矛盾に気づいて、ANSWER 連合は 2009 年の暮れに退役兵・現役兵自身の支部である March Forward! を結成した。

それ以降、March Forward!は米軍や退役兵の間での反戦の一極となってきた。いくつかの軍事施設では、(特筆すべきはルウイス駐屯地やワシントン駐屯地であるが、)March Forward!は軍部隊内の支援の実態基盤を持っている。

長年、March Forward!は現役兵や退役兵を組織し、軍人の自殺、帝国主義者の侵略、社会保障の欠如などの問題に取り組み、抗議活動や演説、subversive action を行ってきた。メンバーの多くが、戦闘の義務を拒否し、同僚に同じことをするよう組織してきた。下士官たちの米国の海外政策(特にアフガンでの戦争)に対する感動的な反対運動に特別に焦点を当て、March Forward!は「Our Lives Our Rights(私たちの命 私たちの権利)」というキャンペーンを始めた。これは、モラルと政治の面からアフガニスタンへの展開を拒否してきたメンバーをハイライトし、同じように展開を命じられた兵士がそれを攻撃的に延期するためにはどうすればいいかの情報を提供した。

私たちの最初の広範な活動である Our Lives Our Rights キャンペーンは、ルウイス駐屯地(月に一旅団がアフガニスタンに送られる)まで旅した。退役兵と現役兵が、何千枚ものリーフレット、ステッカー、パンフレットを配り、配置される兵士たちに「アフガニスタンに行かなくてもいい。行くべきじゃない。私たちが助けるよ」というシンプルなメッセージを送った。軍事基地のいくつもの建物が、リーフレットで埋め尽くされた。4月には、同様の旅が米軍最大の基地であるテキサス州のフォード駐屯地で予定されている。

これらの活動を通し、かなりたくさんの兵士が反戦運動に加わり、多くが戦争の抵抗者となり、何人かは戦闘の最前線でも抵抗し、米国の政策に反対する強力な声として登場している。

(詳しくは、[MarchForward.org](http://MarchForward.org) で紹介しています)

最後に

多様な戦線で活動しつつ、ANSWER 連合は、反戦・反帝国主義を掲げた進歩的運動の国際的な連帯・協力・連携を築くために活動し続ける。

われわれは、解放のための闘いをグローバル化することによって、また、われわれが共通の敵の前に立っており、われわれの希望は共通の勝利のなかにあることを知っているすべての人々との連帯を築く努力を強めることによって、帝国主義グローバリゼーション勢力に対する闘争を闘っているのだ。

## **ANSWER Coalition – U.S.**

**Act Now to Stop War & End Racism**

[www.ANSWERCoalition.org](http://www.ANSWERCoalition.org) - [info@ANSWERcoalition.org](mailto:info@ANSWERcoalition.org)

National Office: 617 Florida Ave. NW, Washington, D.C. 20001

(202) 265-1948 – Fax: (202) 280-1022